

心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響

*ポリファーマシーとは必要以上にたくさん薬を服用してしまうことです。ポリファーマシーでは、薬同士が影響しあって、思わぬ問題を引き起こしてしまうことがあります。

[研究機関] 大分岡病院 薬剤部

[研究責任者] 赤嶺 侑佳（薬剤師）

[研究の目的] 心不全患者におけるポリファーマシーが心臓リハビリテーションの効果に与える影響を検討することで、ADL改善を促進する新たな知見を提供することを目的としています。

[研究の方法] 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

1、対象となる患者さん

2023年4月1日～2024年3月31日までに、入院中に心臓リハビリテーションを受けた患者さん

2、予定対象症例数 300例

3、調査項目

年齢、性別、BMI、クリニカルシナリオ、手術の有無、入院期間、退院先、併存疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能障害、心房細動、脳血管疾患、認知症）、血清総蛋白、血清アルブミン、総コレステロール、血清クレアチニン、eGFR、リンパ球数、血清ヘモグロビン、BNP、左室駆出率、服用薬剤数、服薬薬剤の薬効分類、潜在的に不適切な薬剤、服薬薬剤の総コリン負荷、リハビリ開始までの日数、機能的自立度評価表

4、調査実施期間 2025年1月15日～2025年3月31日

[試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法]

他の機関への試料・情報の提供はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[患者さんの費用負担について]

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性がありますが、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

[利益相反について]

この研究は特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。



[研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。

調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

[問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 赤嶺 侑佳

電話 097-522-3131 (病院代表) 平日：午前9時～午後5時